

シルバ－本庄



花手水 (水琴窟)



花手水

願！コロナ終息

目次

○吉田理事長新年挨拶	2P	・第3回ひまわりの会開催	
○職場紹介／事業活動報告	3P～5P	・就業安全調査会開催	
・競進社模範蚕室		○会員投稿・趣味 洋裁／盆栽	6P
・JA埼玉ひびきの農業協同組合		○理事会開催報告と決議事項報告	
・株式会社ヤオコー本庄中央店		○入会説明会案内、投稿募集、編集後記	
・児玉郡市広域市町村圏組合			
小山川グリーンセンター			

安全・適正就業全国共通スローガン

**「事故防止、
急ぐな、あせるな、
気を抜くな」**



発行所

公益社団法人 本庄市シルバー人材センター

本 所 〒367-0062 本庄市小島南1丁目8番4号 TEL0495-23-1356 FAX0495-23-0732
<https://webc.sjc.ne.jp/honjoh/index> E-mail : honjoh@sjc.ne.jp
児玉支所 〒367-0217 本庄市児玉町八幡山368 TEL0495-73-1256



理事長 吉田 信解

人生 100 年時代
「地域に根ざし、地域を支える
活力あるセンターづくり」の推進
ウィズコロナ／アフターコロナの中でも
・あせらず・あわてず・あきらめない事業展開を！

明けましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、会員の皆様をはじめ各事業所・地域住民の皆様・関係者の皆様におかれましては、日頃からシルバー人材センターの運営にご理解ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年一月に日本で初めて「新型コロナウイルス感染症」の陽性患者が確認されてから一年が経過しますが、依然として収束の気配が見られない状況であります。

誰もが経験したことのない未曾有の事態に、世界が・日本が・そして当シルバー人材センターとしても、事業実績の減額・各種事業の中止等、コロナ感染症に翻弄された一年でありました。

一方でコロナ禍で過去の日常では気づかなかった事に改めて気づかされた、ということも沢山あると思います。

緊急事態宣言や、自粛要請がでていたことから、別生活をしていられるお子さんとなかなか会えず、改めて家族が普通に会いたいとに会える当たり前のことが如何に幸せかということ。職場でもそうです。毎日、当たり前のように仕事で会話をし、行動を共にし、時には皆で楽しく会食していた事が、場合によっては危険な行為になってしまふ、そんな異常な時期を、今、私達は過ごしています。シルバー人材センターにおきましても、ウィズコロナ・アフターコロナのこの時代にできることを、あせらず、あわてず、あきらめず周囲の状況を見極めながら事業展開していきたくと考えております。

コロナ禍もいつか必ず終息します。

どうぞ、会員の皆様には、ご自身の健康を維持し、今は「決してうつらない・うつさない」事を念頭におき、これからも本庄市シルバー人材センターへのご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

本年が皆様にとって、幸多い年となります事をご祈念申し上げます。年頭のあいさつとさせていただきます。



本庄市マスコット「はにぼん」

理事長 吉田 信解
 副理事長 荒井 一夫
 専務理事兼 事務局長 小池 早苗
 理事 浅見 達也
 大塚 隆司
 金子 正明
 笠本 彰
 高田 守康
 田中 富江
 深町 敬好
 福田 敬子
 三ツ間 和江
 皆川 輝夫
 百瀬 和明
 原 史子
 松本 正則
 岡 博

本年もどうぞよろしく
 お願いいたします

○職場紹介／事業活動報告

●競進社模範蚕室

荒井さん

私は令和2年4月から、市内尾玉町にある埼玉県指定文化財「競進社模範蚕室」の管理業務をしています。

主な仕事内容は、来館される方々の案内と有償刊行物の販売、施設内外の清掃等です。

就業は4名のローテーションで、月に6日、7日です。

4月に仕事が始まってからすぐに、コロナ禍により休館となっていました。6月中旬に再開後は、コロナ感染防止対策として施設内のアルコール消毒、入館者への感染予防として手指消毒のお願い等の業務も行っていきます。

入館者は通常5〜10人/日ですがTV放映の効果とありますが11月には1日で70人となった事もありました。

この様な状況下来館される方への対応として特に、言葉遣いに注意し、明るく爽やかな挨拶を心掛け、気持ち良く見学をしていただけるよう心掛けています。

また、他のメンバーの方への引継ぎ連絡等はLINEで情報共有するなど、コミュニケーションを大切にしたいと考えています。



歴史ある文化財施設で働くことを誇りに思い、これからも健康に留意し、仕事を続けていきたいと思っています。



●JA埼玉ひびきの農業協同組合

森田さん

65歳で定年退職し、これからは第二の人生を謳歌しようと何もしないでいたら、体重が増え、基礎数値が悪化しました。

これではダメだと、体を動かす仕事をしようと思い、平成29年10月にシルバ一人材センターの会員となりました。

そして、その年の12月からJA埼玉ひびきの農協の本庄営農センターで仕事を始めました。仕事は、本庄市の農家さんが丹精込めて作り収穫した野菜を車から降ろして所定のパレットに置く軽作業です。

営農センターでは集荷した野菜を、毎日関東一円の市場へ出荷しています。

野菜は一年を通じて多品種の収穫があり、きゅうり、ブロッコリー、カリフラワー、レタス、葱などの本庄野菜を集荷しています。

倉庫は、夏暑く冬は寒いです。体が動かす仕事に、健康・生きがいを感じています。

毎日、農家の人達の元気で働く姿を見て、自分もまだまだ、体が動く限り頑張ろうとのパワーをもらっています。



●株式会社ヤオコー本庄中央店

Ｔーさん

私は、令和元年12月から清掃業務の仕事をしています。

仕事は、総菜製造・寿司・ベーカリーの調理場の清掃、その他排水溝の掃除です。

調理場には、社員・アルバイト・パートナーの皆さんがおり、就業時間は夕方17時～21時の4時間です。二人で交代、2日勤務、2日休みで15日/月位の就業です。

私と仕事をしているのは、旅行好きの女性のＹＩさんで、私はカラオケのボランティア(コロナ禍で今は中断中)ですが日々連携しながら就業しています。

別の部署では男女の2人組みで交代作業を行っています。互いに仲間との仕事なのでウイルス対策では気を遣っており、特にヤオコーは食品等の販売店なので清掃には注意が必要で気を遣います。また、店舗数が多いので自分達の店舗を一番綺麗にしたいと思って働いています。



今の仕事はすぐく体を使いますが、その分よく眠れますから健康に気をつけて、これからもこの仕事で頑張り続け、働く喜びを感じて行きます。



●児玉郡市広域市町村圏組合
小山川クリーンセンター就業者インタビュー
北島さん

○入会のきっかけは？

私は、70歳まで電気工事の会社で働いていましたが、高い所での仕事では危険な作業もあり現役を退きました。

その時にシルバーの仕事を知りすぐに入会、その後野菜農家の苗定植・除草・コンクリート会社の屋外での仕事等を行ってきました。

○どんな仕事ですか？
平成29年4月から、資源リサイクルとして集められた空き瓶の仕分けをする仕事をしています。

コンテナケースに入っているいろいろな種類の空き瓶を、洗淨のみで再利用できる透明瓶・茶色の瓶・その他の瓶に仕分けします。瓶にはプラスチックや金具が付いてい



るものもありこれらをカッターで剥ぎ取り仕分けしていきます。

汚れた瓶等で仕分け判断ができていない時には、みんなと相談しながら仕分けします。

作業時はゴム手袋と前掛けが必須で自前で準備しています。

作業場は、屋根・シャッターはありますが出入りも多く、夏冬は厳しい環境になる事もあり、また、回収瓶の状態によっては臭いもあることがあります。

○仲間とのコミュニケーションは？

メンバーは6人・2班でローテーション就業ですが、いまは5人で1名欠けており、ローテーション作りに苦慮しますが仲間同士の話し合いで対応しています。休憩中などでは雑談で賑やかになることも。

○今後の就業については？

先ず健康第一で、年齢と共に体力的にも仕事が出来にくくなるとは思いますが、現在のコロナウイルスへの感染・その他の風邪などひかないように日々感染防止の意識をもって、適度な仕事として続けて行きたいと思っています。



●第三回・ひまわりの会開催
●早稲田の杜ミュージアム見学会と紅葉の公園散策

田中さん

コロナ禍で見合わせておりました活動を再開し、11月7日「第3回ひまわりの会」を開催、秋らしい晴天の下13名の参加者で開催しました。当日は開館して間もない本庄の新名所「早稲田の杜ミュージアム」の見学に加え、マリーゴールドの丘公園より赤城山や榛名山などを囲む山々を臨み、本庄総合公園では黄金に輝く銀杏並木と寒桜を鑑賞しながらの散歩を楽しみました。

昼食は、大きなブルーシートを敷いて「3密」を避けながらのお弁当です。自己紹介にお喋り・笑い、ピクニックの様な気分でコロナ禍での窮屈な日常からしばし開放され、青空の下木々に囲まれて気持ちも晴れやかになりました。

会名「ひまわりの会」の如く明るく元気に輝く女性達、コロナにも年齢にも負けず、和気藹々とした良い懇親会になったと思います。

今回は、本庄市を飛び出して・・・との案も出ています。



その際には是非沢山の方のご参加をお待ちしています。会員でないご友人もお誘い下さい。一緒に楽しみましょう。

●就業安全調査会開催

背景

少子化による働き手不足や定年延長・継続雇用推進などの影響からシニア世代の雇用・就業が進んでいます。一方高齢就労者による労働災害が深刻な社会問題となっています。

高齢就労者の災害の内、転倒・転落災害は全災害の4～5割を占めており、職場環境等の見直しだけでは充分に対応出来ず、加齢による機能低下・認知機能の測定等が必要となっています。



閉眼バランステスト



5回いす立ち座りテスト



ステップテスト

このたび東京都健康長寿医療センター研究所より表記について委託業務の依頼を受け、それぞれの職群から代表者の協力を頂き、令和2年12月1日に本庄市勤労青少年ホームで就労安全調査会（転倒・転落防止調査）を行いました。

調査には「体力測定員（事前研修認定者）」8名と調査協力受講者24名が参加し、①閉眼バランステスト・②5回いす立ち座りテスト・③ステップテストの測定を受けました。

転倒・転落調査の報告は4回／年行い他のシルバー人材センターデータと合わせ集積・解析により災害防止に繋げることになります。

会員投稿・趣味



洋裁

小笠原さん



洋裁は、子供のために服を作り始めたのがきっかけです。子供が大きくなつてからは次第に自分のものを作るようになりました。

よく作るのはチュニック。ブラウス、スカート、ズボンなども作ります。今は型紙も市販品がたくさんあります。ひとつ型紙を作れば、あとは体型や好みに合わせて幅や丈を変えてアレンジ出来ます。

手作りの良いところは、自分の好きな布地で自分に合ったサイズの服を作れること。都内のお店まで買いに行く事もあります。さまざまな色や柄の生地を見ているだけでもイメージが膨らんで楽しいです。

盆栽

齊藤さん



盆栽を始めたのは23歳位からです。最初は、まだ若いのに年寄り臭い趣味だと笑われました。最近では若い人達も盆栽の魅力に取り付かれた方も多いためか。ミニ盆栽は30年くらい前から手掛け、小さい鉢を自分で焼いたこともありました。また、他の人の作品も見ると都内で開催される盆栽展にもよく行きました。今年はコロナの影響で行けないのが残念です。掲載写真の飾り棚も自分で作りました。



●理事会開催と決議事項報告

- 【第五回理事会】7月31日
 - ①正会員6名の入会承認
 - ②正会員13名の退会承認
- 【第六回理事会】8月31日
 - ①正会員4名の入会承認
 - ②正会員4名の退会承認
- 【第七回理事会】9月30日
 - ①正会員5名の入会承認
 - ②正会員3名の退会承認
- 【第八回理事会】10月30日
 - ①正会員6名の入会承認
 - ②正会員1名の退会承認
- 【第九回理事会】11月30日
 - ①正会員4名の入会承認
 - ②正会員1名の退会承認
 - ③正職員給与規定の一部改正
 - ④再雇用職員就業規則の一部改正
 - ⑤令和2年度収支補正予算の承認
 - ⑥嘱託職員就業規則の一部改正

入会説明会案内

- ◇毎月第2・第4火曜日
(午前10時より)
シルバー人材センター本所
本庄市小島南1-8-4
- ◇毎月第3金曜日
(午前10時より)
アスパアこだま児玉公民館
本庄市児玉町八幡山368

*当日が祝日に当たる場合は中止となります。

(人)

会員の登録状況

	男	女	計
令和元年12月31日	366	142	508
令和2年12月31日	349	149	498

編集後記

依然としてコロナ禍が続く中で、厳しい寒さとも戦いながらの会員各位の就業は今までになく大変であると思います。ワクチンに頼るだけでなく、各自の健康管理をしっかり行い、ウイルスに負けない気持ちを持ち続けてほしいと思います。

センターでは会員の皆様の本誌へ掲載する原稿を募集しております。就業の体験談、旅行記、ペットや趣味などについて2000〜4000字程度の内容でセンターへ投稿して下さい。匿名でも記名でもかまいません。お待ちしております。

投稿募集